

みんなで作る

みやち

笑顔のまち福山

宮地つよし

後援会だより

No. 30



★編集発行

宮地つよし後援会

★発行責任者

長安 幸司

★発行年月

平成 30 年3月

★市道の補修依頼が簡単に！スマートフォンアプリを開発

春とはいっても朝夕はまだまだ冷え込みますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

福山市では、安全で円滑な道路交通を確保するため、路面舗装の簡易補修を年間 1,000 箇所以上行っています。しかし依然として、道路上のくぼみによる車両損傷などの事故は後を絶ちません。

道路の修繕については、市民の皆さんや土木常設員から連絡を受けた後、速やかに対応していますが、さらに「広く皆さんから情報提供いただくこと」や「より円滑で迅速な現場対応を行う」ことを目的として、現在、スマートフォン無料アプリの開発を進めています。運用開始は4月初旬を計画しており、準備が整い次第情報を展開する予定ですので皆さん是非利用してください。



道路情報連絡アプリ
「パ撮ローズ」

★3月度定例議会が開催されました。

3月度定例会が、2月27日から3月22日まで、24日間の会期で開催されました。

議案は、「平成30年度一般会計予算」として新年度の予算に関わるものが16件、「平成29年度一般会計」の補正予算関係（防災・減災、小中学校の校舎耐震補強など）が9件、その他、職員定数条例や放課後児童クラブ条例などの一部改正や工場立地法地域準則条例の制定など、全部で72件の審議を行い、いずれも賛成多数で可決しました。また議員発議案の「議員定数条例の一部改正（40人→38人）」や「子ども及び妊婦を受動喫煙から守る条例の制定」も可決しています。

なお、「国民健康保険税」「介護保険料」を上げないことを求める請願2件についてはいずれも否決しました。

また、3月の定例議会は各会派の代表1名が代表質問を行いますが、私の属する会派（新生クラブ）からはJFE出身の八杉議員が質問を行っています。質問は、「中心市街地の活性化」「女性の活躍推進」「地域経済の活性化」など9つの柱で行いました。

八杉議員代表質問【抜粋】 「乳幼児等医療費助成事業」について

質問 乳幼児等医療費助成の対象年齢拡大については、国が責任を持って構築すべき内容であるが、現状周りの市町では独自の助成を拡充させており、市町間での格差が広がっている状況である。こういった状況が、子育て世帯の転出超過に繋がっているとも考えられることから、福山市としても医療助成の対象年齢拡大を検討すべきではないか。

答弁 県内市町の状況など詳しく分析する中で、子どもの貧困対策や人口減少対策の側面も踏まえ乳幼児等医療費助成制度について前向きに検討する。

★平成 30 年 新年度予算決定

福山市は、少子化の進行や若い世代の転出超過などが続いており、本格的な人口減少社会の到来が目前に迫っています。都市としての活力を失わないよう、若者や女性にとっての魅力や市民一人一人のふるさと福山への誇りを高めていく必要があります。このため、新年度は、挑戦の手綱を緩めることなく、福山駅前のにぎわい創出に向けた実践や福山ネウボラの拡充、福山城築城 400 年の取組強化など「5つの挑戦」を加速させます。また産業、芸術・文化、スポーツの拠点機能の強化や本格的な人口減少対策にも重点的に取り組み、中国・四国地方の拠点都市として活力と魅力にあふれた都市づくりを力強く進めていきます。

新年度予算の概要（「未来づくりへの積極的な投資」と「健全な財政運営」の両立を図る）

歳入につきましては、根幹となる市税がH29年度と比べて約9億円の増と3年連続で増加し、約725億円となる見込みです。

歳出については、未来づくりの取り組みに約126億円を重点配分しました。また投資的経費は、小中学校の校舎改修やICT機器整備、中学校給食完全実施に向けた整備、新総合体育館建設などにより、H29年度と比較して約33億円の増となる約214億円を確保しています。

その一方で、事務事業の見直しや計画的な基金の活用など、積極的な財源確保にも取り組んでいます。主要な財政指標である実質公債費比率は1.5%と過去最低値を更新させるとともに、経常収支比率も83.8%とH29年度から0.4ポイント改善しています。

新年度の主要な事業（「5つの挑戦の加速」と重点施策）【抜粋】

◇挑戦1 中心市街地の活性化と都市の魅力向上

福山城南側道路を「二之丸お散歩エリア」とした社会実験の実施や、中央公園の運営にカフェなど民間資金を活用した新たな整備・管理手法（パークPFI）の導入研究を行います。

◇挑戦2 希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出

働きたい女性を応援するため、就業規則の改正や女性専用更衣室の設置などに取り組む企業の助成制度を創設します。

◇挑戦3 まちの成長をけん引する産業づくり・防災

スマートシティの実現を目指し、様々な実証実験などの取り組みを開始し、IoTなどを活用した地域課題の解決に向けて県と連携します。

◇挑戦4 夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

100人委員会では1年かけて議論した「30年後の未来図」が完成しました。未来図の具体化に向け、意欲のある人が集い議論する「未来づくりミーティング事業」をスタートさせます。

◇挑戦5 文化・スポーツの振興

市民がスポーツを身近に楽しむ環境をつくるとともに、スポーツを通じて国籍や文化の違いを越えて互いを理解し合うオリンピックムーブメントを推進します。

◇重点施策 備後圏域における拠点機能の強化

産業の拠点機能の強化に向けてIoT・AIなど最先端技術を創造・活用できる拠点づくりに挑戦し、中小企業の技術開発力を高めます。

◇重点施策 人口減少対策の推進

不妊治療に対するこれまでの支援を継続するとともに、不育症治療への支援も新たに開始します。



【30年後の福山の未来図】



【新総合体育館完成予想図（公園側）】

～みなさんの声を聞かせて下さい～

【連絡先】

自宅：☎TEL/FAX：084-956-5690

Eメール：miyachi-tuyoshi@tk9.so-net.ne.jp

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せ下さい。

～4月の行動予定～

- 4/1（日）下松市議会選挙出陣式
- 4/4（水）新人議員勉強会
- 4/5（木）議会だより編集委員会
- 4/6（金）春の全国交通安全運動
- 4/9（月）小中学校入学式
- 4/12（木）議会だより編集委員会
- 4/21（土）神辺パイパス開通式典